

大和アセットマネジメント
資産運用普及センター
2026.09

月
日
曜日
日直

金融経済教育テキスト

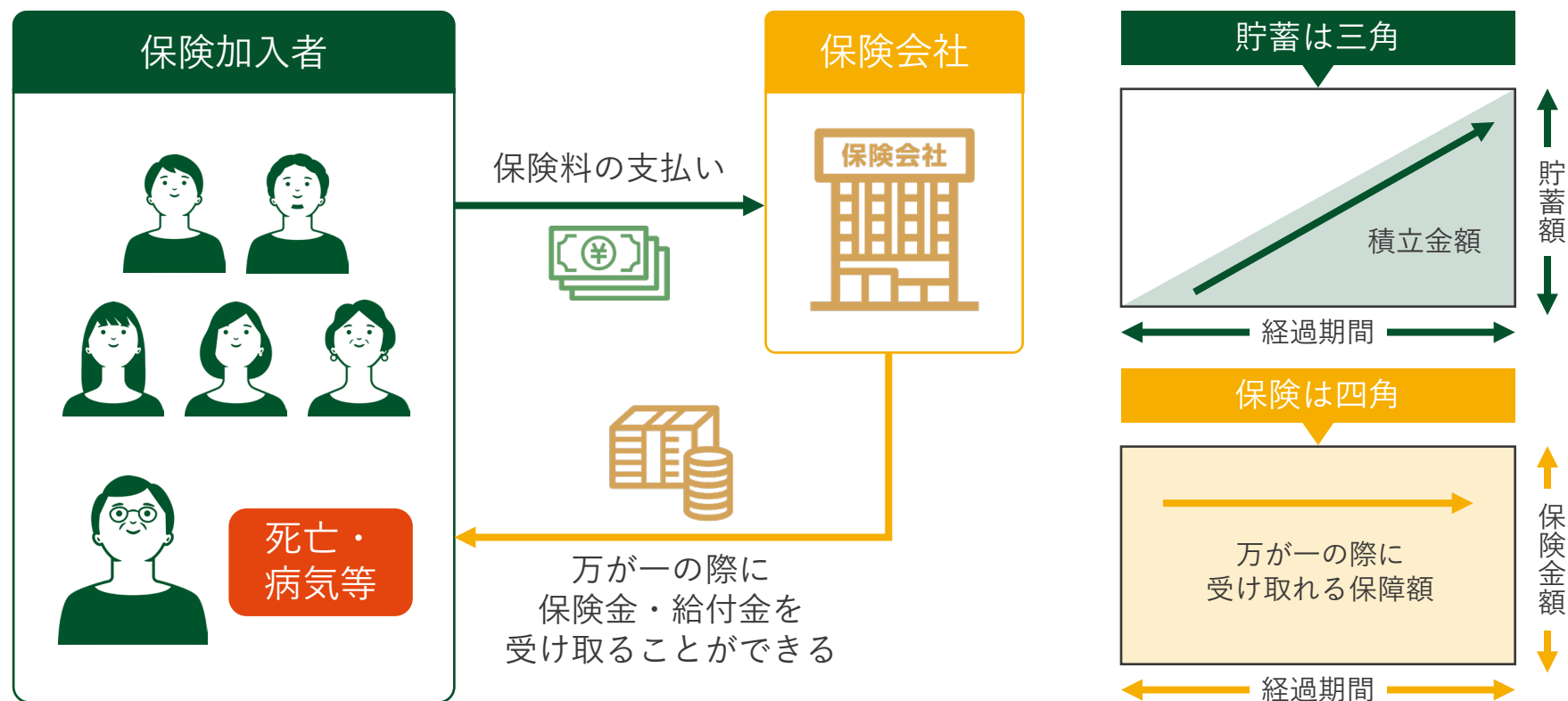
保険編



未来を見上げた、その先に。
ファイナンシャル・ウェルビーイング

1. 保険の仕組み

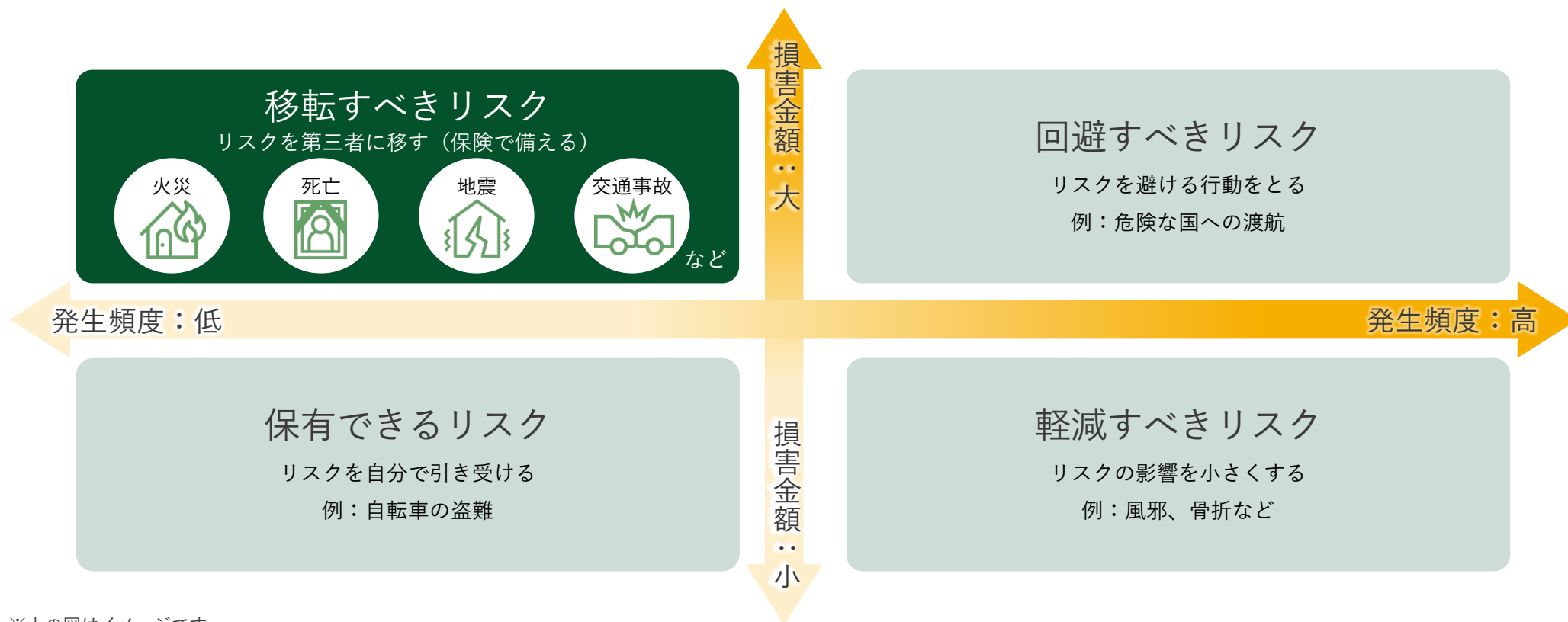
- 保険とは、病気や事故、災害などの予測できないリスクに備え、多くの人が少しずつお金（保険料）を出し合い、万が一の際にまとまったお金（保険金）を受け取る「助け合い（相互扶助）」の仕組みです。
- 貯蓄（預貯金）は、損失を被った場合には貯蓄額の範囲内でしか対応できません。一方保険は、支払った保険料の金額に関係なく、万が一の際に保険金額を受け取ることができます。



（出所）公益財団法人生命保険文化センター、各種資料

2. リスクと保険の関係

- リスクの種類は、発生頻度の高低を横軸に、損害金額の大小を縦軸に取ることで、計4つのタイプに分類することができます。
- このうち「**移転すべきリスク**」（発生頻度が低く損失が大きいリスク）は、家計では賄いきれない可能性があるため、保険で備えることが有効です。これにより、事故や病気が起きたときの経済的負担を軽減することができます。



※上の図はイメージです。

（出所）一般社団法人日本損害保険協会、各種資料

3. もしものとき必要になるお金

- 交通事故や、病気による入院、一家の働き手の死亡など、リスクによって起こる可能性や必要となるお金がそれぞれ異なります。
- どのような場合にどれくらいの金額が必要になるのか理解し、**もしものときの備えを考えることが重要**です。

	交通事故	病気で入院	一家の働き手が死亡
リスク			
発生頻度	交通事故の年間発生件数 290,895件 約108秒に1件	1日平均新入院患者数 44,210人 約2秒に1人	65歳までに亡くなる人の割合 男性：10.4% 女性：5.6% 約10人に1人 約18人に1人
損失額	死亡事故の賠償額（平均） 約3,975万円 ※任意保険における支払い。	直近の入院時の自己負担費用（平均） 約18.7万円	45歳の会社員が死亡した場合に 残された家族に必要なお金 約1億3,160万円

（出所）公益財団法人生命保険文化センター「君とみらいとライフプラン2026年度版」

4. 公的保険と民間保険

- 保険には、公的保険と民間保険の2種類があります。
- 国が運営する公的保険は原則として強制加入である一方、保険会社が運営する民間保険は任意加入です。**民間保険は公的保険を補完する側面がある**ため、公的保険の保障内容を理解した上で民間保険に加入することが重要です。

● 主な公的保険と民間保険 ●

リスク	公的保険	民間保険
ケガ・病気	公的医療保険 (健康保険・国民健康保険・後期高齢者医療制度 /高額療養費制度/傷病手当金)	損害保険/医療保険/がん保険 等
老齢	公的年金（老齢年金）	個人年金保険 等
死亡	公的年金（遺族年金）	死亡保険（終身/養老/定期） 等
介護・認知症	公的年金（障害年金） 公的介護保険 等	介護保険/認知症保険 等

（出所）金融庁

5. 民間保険の種類

- 民間保険には、第1分野である**生命保険**、第2分野である**損害保険**、そのどちらにも分類できない**第3分野の保険**があります。
- 商品ごとに保障内容や対象となるリスクが異なり、生活スタイルや価値観に応じて選ぶことができます。また、ライフステージの変化に応じて、保険の見直しを行うことも大切です。

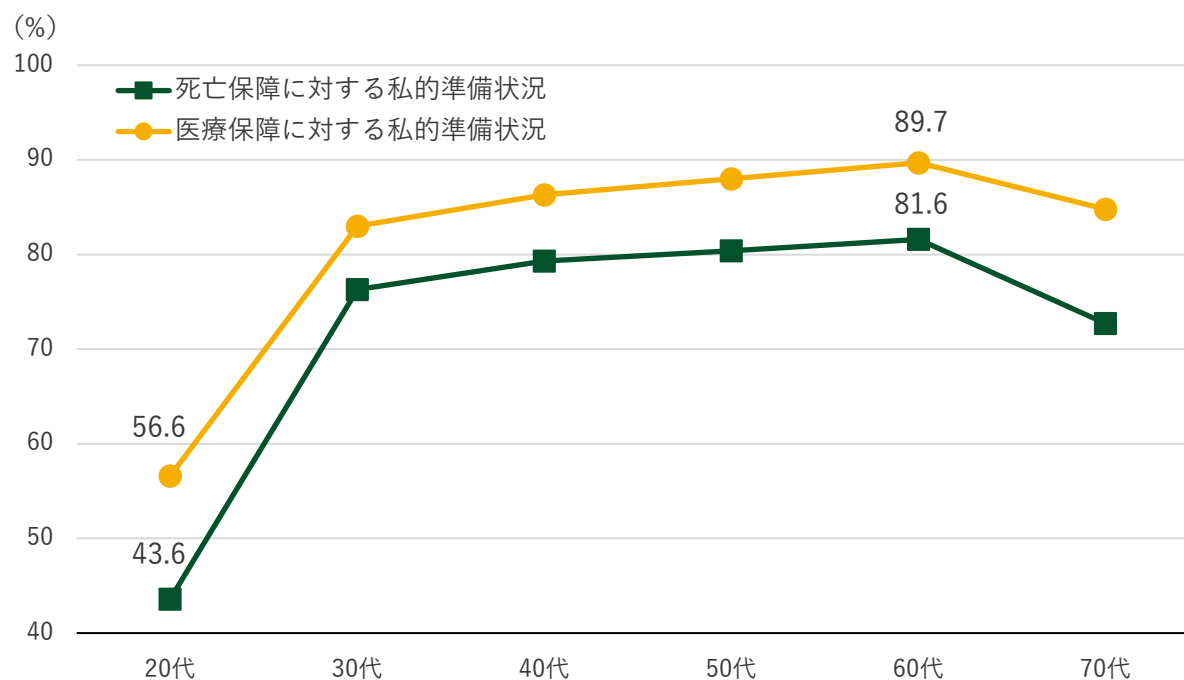


(出所) 公益財団法人生命保険文化センター、各種資料

参考：保障に対する平均的な備え

- 家計が毎月支払っている保険料は、保険の種類や世帯構成人数によって様々です。保障に対する準備状況は年代によって異なっており、**60代が最も高い割合**で備えています。
- 自分のライフステージや家族構成の変化にともない、必要な準備をすることが大切です。

● 私的保障※を準備している人の年代別割合 ●



※私的保障は生命保険、損害保険、預貯金、有価証券、その他が含まれる。

(出所) 公益財団法人生命保険文化センター「生活保障に関する調査」(2025年度)



世帯当たりの全生保※加入件数
(個人年金保険)を含む

平均3.8件



世帯の年間払込保険料

平均35.3万円

※全生保は、民保(かんぽ生命を含む)、簡保、J A、県民共済・生協等を含む。

(出所) 公益財団法人生命保険文化センター
「生命保険に関する全国実態調査 [2人以上世帯] (2024年度)」

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

月

日

曜日

日直

これからの暮らしに
安心をプラスしよう

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management